

目的		本プログラムは、行政の自然災害への危機管理政策の一環として、市内の自治会、公民館、生涯学習、企業、各種団体等における減災力向上を目的としています。利用は原則無料で、段階的かつ継続的に利用できますので、お気軽にご利用ください。 申込先は 北杜市総務部消防防災課 0551-42-1323						
番号	枝番	出前塾プログラム	実施内容の例		時間 (注1)	実習 (注2)	前提条件・備考	
01		家庭や地区・地域の減災力向上学習・体験プログラム	平成時代の災害の教訓		1.0		ビデオ学習あり	
02	関連用語から学ぶ減災の基礎知識		防災と減災、率先避難、BCP、新たな災害種・警報、安全な避難先、避難生活のPITS、避難所のルールとマナー、減災マップ、タイムライン等を学びます。	1.5	△	クイズ形式あり		
03	いますぐできる家庭の減災		家庭内の減災力強化、命と財産を守る整備と訓練、季節・暗闇対策、適正備蓄品、緊急時持出品、マイタイムライン、家族の安否確認法、感染予防の戸別分散避難等を学びます。	1.5	△	基礎知識を学習後 171 利用の事前申し込み		
04	家庭を取り巻く地区・地域の減災		いざという時に機能する自主防災組織、地区防災計画の三種の神器（人材育成、減災マップ、地区タイムライン）、諸規定例、効果的な訓練例等を学びます。	1.5	△	基礎知識を学習後		
05	避難所の開設と運営		避難所の開設と運営、開設時優先機能、避難生活でのPITSの軽減化等を学びます。（ワークショップ）1次開設機能、2次開設機能のシールと避難所見取図で机上体験	1.5	○	備品：見取図、機能シールはさみ、赤青のボールペン		
06	地区責任者の責務と、その時		みんなが助かる地区・地域の仕組みづくり、その時の、地区責任者の判断と指示と行動、地区責任者が身につけたい基礎知識と普段の整備と訓練等を学びます。	1.0	△	発災後、知らなかったでは済まないための習得		
07	1 2 3 4 5 6	想定事態別の地区・地域の訓練	大地震	初動行動訓練	初動（安全確保→ブレーカー断→移動）、集団避難行動、安否確認	1.0	○	集合場所でミニ研修
				避難所開設訓練	公民館や指定避難場所の開設（PIT対応）、情報の収集と伝達	1.5	○	ウイルス感染予防対策あり
			大雨・洪水	タイムライン訓練	第1段階：要配支援者・要配慮者優先避難訓練 第2段階：車両等の移動→避難準備→全員避難 の時系列訓練	1.0 2.0	○	事前協議とスタッフ編成、訓練プログラムに沿った実施
				トイレ衛生利用	凝固剤を利用した清潔なトイレ利用法の学習と実習	1.5	○	凝固剤、黒ポリ袋、輪ゴム等
			総合	炊き出し	水とアルファ米の調達、炊き出し、試食（ゴミを出さない食事法）	1.5	◎	市の災害対策本部との連携
08	1 2 3 4 5 6 7	親子、地区住民、各種団体等向け みんなで楽しく体験 (組み合わせ可)	グッズづくり1 グッズづくり2 グッズづくり3 暗闇体験 安否確認 情報伝達 宿泊体験	新聞紙でスリッパ・ゴミ箱づくり。ラップや指定ゴミ袋使用で寒さ対策	組み合わせ可	1.0	◎	訓練の規模、プログラム、地区事情等によって時間が異なります。また、申込者や参加者に備品を用意していただく実習や体験もあります。
				牛乳パックで男子用小便器・女子用小便器づくり		0.5	◎	
				段ボールでヘルメットづくり（2パターンあり）		1.0	◎	
				夜間に大地震が起きて停電した事態を体験		1.0	◎	
				参加者をグループ分けし、災害用伝言ダイヤル171を使った情報伝達訓練		1.0	◎	
				参加者をグループ分けして、情報伝達の速度と正確性を競うゲーム式（2回実施）		1.0	◎	
				避難所の開設、テント設営、炊き出し、ゲーム、学習、体操、季節対応等		14.0	◎	
09	1 2 3 4 5	地区・地域向け 実践プログラム	機能する自主防災組織づくり		機能する自主防災組織とは（机上学習）、自主防災組織規定づくり、地区事情に適した自主防災組織の編成（選択フロー図から組織化と将来構想）	1.5	○	地区の現状から将来も踏まえ、実際に組織を編成・再編
			地区タイムラインづくり		地区タイムライン作成、避難行動要支援者個別避難計画、緊急一時避難先の机上学習 警告性災害時の地区責任者行動計画の作成	1.5	△	資料2種（確認書、連絡文）の様式を使用
			地区減災マップづくり		ハザードマップの学習、減災マップの目的と作り方の学習 マップづくり：フィールド調査→マップ上に情報の集約→避難情報・付帯情報の検討	3.0	◎	対応地区の白地図の他、作業用備品が必要
			地区防災計画の策定		地区防災計画とは、地区防災計画策定のガイドラインの学習 地区事情に適した地区防災計画の策定	1.0 1.5	◎	ガイドラインからの策定
			地域減災リーダー育成		減災に関する知識と技能を有する人材の育成（出前型、時間短縮バージョンあり）	7.0	○	市の公式認定制度に準ずる
10	1 2 3 4 5 6	組織団体向け 実践プログラム	福祉施設の減災対策	対策の意義	CSR、職員行動規定、利用者規定、感染予防対策、安否確認	1.5		◇ 福祉施設の事業内容で整備や訓練が異なる。 ◇ 学校にタイムラインはない。（学習はする） 策定支援には、実費が必要
				タイムライン訓練	福祉事業所のタイムラインと、周辺地区との協働訓練	?		
			学校・保育園等の減災対策	教育現場の対策	公助の責務、保護者の責務、保護者協働・地区協働	1.5	◎	
				保護者協働訓練	訓練計画表での災害種別（突発性災害時、警告性災害時）対応訓練	1.5		
			BCP事業継続計画の策定	BCPとは？	BCPの目的、内容、期待する効果等を学習	1.0		
				BCPの策定	ガイドラインに従ったBCPの策定	?	○	
11	その他、希望する研修項目		上記にない内容や、上記の一部だけまたは組み合わせで研修したい場合は、北杜市総務部消防防災課にご相談ください。また、相談や利用の申込は電話で可能です。 問合せ先・利用申込先 電話 0551-42-1323					

(注1)「時間」はかかる正味時間で、利用者の希望により短縮または一部強調など可能です。また、正味時間は1.5時間(90分)を1単位とします。傾字は実施する内容によって時間が異なります。

(注2)「実習」の欄が空白は実習なし、△は時間の10~20%が実習、○は50%が実習、◎は大半が実習 となりますが、こちらも利用者の意向で変更可能です。

(注3)原則、指導者は一人に対応しますが、2単位以上、大規模研修、訓練や参加人数により複数人で対応することもあります。

指導：特定非営利活動法人減災ネットやまなし

(注4)プログラムによっては、申込者や参加者に備品等をご用意いただく場合もあります。

電話・FAX：0551-23-5656